

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型児童通所支援 ミックスベリー-ONODA		公表日		令和7年 2月 28日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	7	設置基準は満たしておりますが、指導訓練室などが手狭なため、その日の利用状況や活動に合わせて物品を移動、パーティションを活用し可能な限り広いスペースを確保するなどの対応をしております。	現在使用している部屋の整理整頓を継続し、利用者が使える部屋を確保いたします。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	職員の配置人数に加え加算要件を満たす職員配置をしております。	利用されるおさまの人数に合わせて必要な職員配置を整えられるように努めてまいります。また、利用人数が多い時は過ごす空間が狭まり危険が伴う場合も予測されますので見守り体制も強化しながら安全に過ごせるように努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	おさまが利用する場所はバリアフリーの構造になっております。トイレには動作補助のため、手すりを設置しています。また、物の置き場所などは分かりやすいように空間を分ける、絵カードで示すなどの対応をしております。	活動に応じて部屋のレイアウトを変更しおさまに分かりやすいよう視覚化しております。その他、活動する中で危険箇所や不具合が生じた場合には、皆が安全に過ごせるような環境作りを行い、対策を講じております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	毎日の清掃・消毒を行っています。	今後も生活空間の清潔保持に努め、心地よい空間を作れるようにいたします。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	宿題や個別療育などで集中したい時、クールダウンしたい時などはできる限り別室で対応できるようにしております。	その日の利用状況や活動に合わせて物品を移動したり、パーティションなどを活用することで、可能な限り活動に合わせた空間で過ごせるように工夫してまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	月に一回のミーティングの際に、支援する上で協議が必要な事柄について話し合いを行い、職員全体で方向性を決めております。	目標設定は行っていますが、振り返りが不十分などがあるため、PDCA サイクルをまわし業務改善をしていくために朝礼やミーティングなどの情報共有、振り返りの機会を設けてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	アンケート調査を行い、保護者様から寄せられたご意見やご要望などを事業所内で共有し業務改善に努めております。	アンケート結果を含めた保護者様からのご意見やご要望の把握に努め業務改善につなげてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	朝礼やミーティングなどで意見交換を行っております。	今後も定期的にミーティングを行い、職員全体で意見のすり合わせを行うことで業務改善を図ってまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		第三者による外部評価の取り組みはありません。今後、必要に応じて検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部講師による研修や事業所職員による研修など形態は様々ですが、月に一回程度事業所内研修を実施しております。法人内での研修も年に一回以上行っております。	引き続き、様々な研修の機会を設け専門性の向上を図り、業務や療育などを含めたおさまの支援に活かしてまいります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	3		現時点(令和7年2月28日)では公表されておりませんが、来年度までに作成し公開する予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	見学や体験利用の申し込み時に面談を行い、おさまの状況、ニーズなどの把握に努め、体験利用時の様子と契約時のアセスメントを基に個別支援計画を作成しております。また、モニタリング時期も上記の対応を行い、必要な事項について個別支援計画に反映しております。	個別支援計画の更新時期以外にもおさまの状態に変化が見られた場合や保護者様からご要望等があった際は、適宜、見直しを行い、おさまの発達に合わせた個別支援計画作成に努めてまいります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	事業所内で行う担当者会議には児童発達支援管理責任者、各々の利用者の担当職員などが参加し支援の方向性を決めております。	今後もおさまの支援に関わる職員が複数加わり、おさまの最善の利益を考慮した検討が行えるようにしてまいります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	作成した計画書は全職員に共有されております。また、計画書に沿って個別療育の課題を設定、個人の目標を設定しております。	今後も計画書を作成した際や変更があった際はその都度職員に共有し計画に沿った支援ができるように努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	フォーマルアセスメントを実施している利用者については任意で結果を共有していただいております。インフォーマルアセスメントについては適宜行っております。	今後も必要に応じてフォーマルアセスメント、インフォーマルアセスメントを活用しおさまの状況を確認し支援に活かしてまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	必要な項目を組み込み、支援内容を設定しております。	今後も左記の項目を適切に設定し支援内容を検討してまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員間で意見を出し合い、活動プログラムを立案しております。	今後もおさまがより安全に楽しく活動に取り組めるような活動プログラムを考えてまいります。	

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	療育活動は定期的に評価を行い、一人ひとりであった目標や課題を設定しております。継続して取り組む必要がある課題については繰り返し行っており、成長に合わせてステップアップできるよう多数の課題を準備しております。個別療育については微細・マッチング・生活訓練・学習・構成など様々なカテゴリーからお子さまに合わせた課題を選択してまいります。	今後もお子さまの発達段階や課題に応じてプログラムの内容を発展させ成長に合わせた課題の提供を目指してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	お子さまの課題等を踏まえた上で個別活動と集団活動を組み合わせる個別支援計画書を作成しております。	今後もお子さまの状況把握に努め、成長をサポートできるように個別支援計画書の作成に努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	指示表作成、朝礼にて打ち合わせや役割分担などの確認を行っております。また、支援内容については記録及び申し送り確認しその日の支援や配慮する点などの確認をしております。	左記の内容については確認ができていますが、お子さま一人ひとりの療育内容や課題の取り組み方などより細かな情報共有が図れるようにしてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5	送迎等の関係で支援終了後の打ち合わせ時間は確保できておりませんが、居残りの職員で振り返りを行ったり、業務日報の活用、次の日の朝礼時に情報を共有するなどの対応をしております。	今後も職員全体に必要な情報が共有できるように日報の活用、朝礼での情報共有を徹底してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	運営ソフトを導入し利用時には必ず支援記録を入力しております。	今後も支援の検証や改善につながるような記録を意識付けてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	児童発達支援管理責任者及び担当職員を中心にモニタリングを行い、見直しの必要性を判断しております。	定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しを行ってまいります。定期的なモニタリング以外にもお子さまの状況により見直しの必要性がある場合は、適宜、見直しを行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が参画しております。	開催時には児童発達支援管理責任者が参画しておりますが、今後、必要に応じて担当職員も参画できるよう体制を整えてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	体制は整えております。	体制はありますが実績は少ない為、今後必要に応じて取り組んでまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	送迎時に加え、必要に応じて情報共有ができるよう努めております。	今後も送迎時や必要時に情報共有を行えるよう努めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	移行の際に必要な情報共有は行っております。	移行後は送迎時などしか情報交換のタイミングが作れていないため、今後必要に応じて情報交換の場を設けることを検討してまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	7	現在はそのような機会を設けることが出来ておりません。	今後必要に応じて検討いたします。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	レクリエーションで公園に遊びに行った際に地域のお子さまの中に混ざり遊ぶ、公共交通機関に乗り出し地域の方と関わる機会を設けております。	今後、地域での活動の機会を増やしていけるよう検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳や送迎時にお話することで情報共有に努めております。また、定期的なカンファレンスを実施し共通理解が図れるようにしております。	今後も継続してまいります。また、必要に応じて個別に相談の時間を設けてまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		お子さまの行動に関する悩みや不安に対して助言が出来るように努めておりますが、ペアレント・トレーニングの実施はできておりません。今後必要に応じて検討してまいります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	見学や契約時に説明を実施しております。また、運営規程の内容及び利用者の負担額が変更になった際には、その都度口頭説明及び書面配布にてお伝えしております。	今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	カンファレンスを行い保護者様やお子さまの意向を確認したうえで作成しております。	今後も定期的に保護者様と話をする場を設け意向を取り入れられるように努めてまいります。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が説明を行っております。	今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者様からの悩み等に対する相談に応じ助言を行っています。	今後もご相談があった場合には、迅速な対応が出来るように努めてまいります。また、子育てに関する相談に適切に応じることが出来るよう職員一同自己研鑽に努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7		現在は父母の会などの保護者会を設けておりません。今後ご要望に応じて保護者様同士の連携の場を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情などの申し出があった際には内容確認後、速やかに改善策を検討したうえで申し入れ者に改善策を伝え苦情解決に努めております。	今後も引き続き、保護者様には苦情受付体制の周知を図り、職員へは苦情の申し入れがあった際に迅速かつ適切な対応ができるよう、体制及び対応マニュアルの周知徹底に努めてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	活動の内容報告(お便り)の配布、SNSを活用した活動のお知らせをしています。	今後も行事予定や活動の報告などを発信してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報記載された書類については、鍵付き書庫で保管しております。また、個人情報保護の対策としてパソコンに覗き込み防止フィルターを設置し、日頃より職員へ注意喚起の声掛け、朝礼での口頭確認を行っています。	今後も引き続き、個人情報の取り扱いには注意してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	言葉のみではなくカードや写真を用いて視覚的に支援をしたり、ジースチャーや見本を見せるなど、お子さまに合わせて「伝わる」工夫をしています。保護者様への情報伝達ツールも状況に合わせて配慮しております。	今後もご利用されるお子さまや保護者様に合わせて、より良い方法を検討してまいります。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	地域住民との直接的な関わりは少ないですが、買い物学習やみかん狩り、バスの乗車体験など地域に向く機会を設けております。	地域の皆様を招いて行う行事は実施できておりません。今後、行事を充実させ、地域に根付いた事業所となるように取り組んでまいります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	各種対応マニュアルを策定し、職員へ周知しております。また、定期的な救急の訓練や感染症についての研修を行っています。	各種マニュアルについて保護者様への周知が不十分な点もありますので、周知方法を検討してまいります。また、発生を想定した訓練、知識や技術の習得及び再確認などを定期的に実施してまいります。あわせて必要に応じてマニュアルの見直しを行い、安全対策に努めてまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPを策定し、事業所内の職員で研修及び訓練を行っています。また、避難訓練についても定期的に実施し、必要に応じて、消防署に来ていただき訓練についての助言をいただく機会も取り入れております。	今後は、防災訓練と紐づけて訓練を行い、災害時に職員全体で対応できるよう努めてまいります。利用人数が多い日に避難訓練を行っています。全員が参加できていない状況です。今後は、全てのお子さまが参加できるよう調整したり保護者様にもご参加いただけるような訓練を検討課題だと考えております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に服薬や予防接種、てんかん発作等の状況を聞き取り確認しております。実際に服薬をする際は、当日保護者様に服薬確認表を提出していただき服薬状況を確認しております。	今後も服薬に関しては事前の確認を徹底し、医師が処方したものでなければ服薬できないこと、一度も服用したことがない薬に関しては当事業所では服用できないことなど取り扱いに細心の注意を払って対応してまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	おやつ提供時はチェック表を基に職員2人で確認を行っています。	今後も契約時に食物アレルギーの調査表を記入していただき、該当されるお子さまには細心の注意を払って対応いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を策定し、虐待防止研修や防災訓練などを行っています。	今後も安全計画に基づいた研修や訓練、その他の必要な措置を行い、安全管理に努めてまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	5	安全計画は策定しているが保護者への周知は不十分である。	契約及びカンファレンス時に閲覧可能なことを周知できるよう努めてまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	危険な事例があった際には、職員間で内容を共有した上で対応策を協議し再発防止に努めております。	今後も継続するとともに振り返りを行う機会を設け、さらなる改善策や予測される危険などについて検討し、職員の危機管理能力の向上に努めてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に虐待防止の研修を行っています。	今後も定期的に研修の機会を設け、職員全体で虐待防止の意識を高めてまいります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	身体拘束に関する指針や規定を作成し、職員間で共有しています。身体拘束を行う必要がある利用者については事前に保護者に説明を行い了承を得ており、児童発達支援計画にも記載しております。また、身体拘束にあたる事例があった際には日々の記録に記載しております。	身体拘束を廃止していくためにお子さまの状況に応じて支援方法を検討するなどの対応を講じていきます。	